

国産有機加工原料の安定確保とHACCP対応オーガニックベビーフードの安定供給への取組

有限会社かごしま有機生産組合：R3～R5

ポイント

- 有機農産物(にんじん、さつまいも、たまねぎ、じゃがいも等)を対象に、鹿児島県南九州市に集出荷貯蔵施設と鹿児島市に農産物処理加工施設を新設し、生産者から国内有機加工原料を安定確保、生産から加工までを一体的に実施する体制を構築。
- これにより生産者の作業負担が軽減、栽培面積の拡大と規格外農産物の処理加工による生産者の所得向上を実現。

取組内容

【生産安定効率化】

- ・ 有機農産物の出荷調製作業にかかる労働力不足、規格外農産物の収益性向上が課題。
- ・ 集出荷貯蔵施設の整備により有機生産者の出荷調整作業を軽減し、面積拡大及び生産量増加を実現。

【供給調整】

- ・ 有機農産物の供給拡大に対応し、規格外原料の活用を可能とする農産物処理加工施設を整備し、規格外原料の一次加工と有機産地のリレー出荷による周年供給体制を確立し、国産有機加工品の流通拡大を実現。

【実需者ニーズ対応】

- ・ 集出荷貯蔵施設と処理加工施設の整備と、生産面積の拡大、ISO22000認証の取得により、消費者・実需者が求める価格・品質で安定出荷。

支援内容

- ・ 南九州市に有機農産物の集出荷貯蔵施設の整備
年間処理量322t/年
- ・ 鹿児島市に農産物処理加工施設の整備
年間処理量125t/年

主な成果

- ・ 集出荷貯蔵施設の整備により輸送時間や運賃コストが削減でき生産者が生産に注力できる環境を整えた。
- ・ 生産者負担を軽減するため、**収穫・選果代行事業を開始**。生産者10名にまで拡大し適期収穫体制が強化。
- ・ 海外からもニーズが高まる有機農産加工品の生産拡大のためR7年に**ISO22000 認証を取得**。輸出量が**2.6倍に拡大**。新商品開発も含め新たな需要を獲得。



加工施設



紅はるかのほ場

実施体制

